

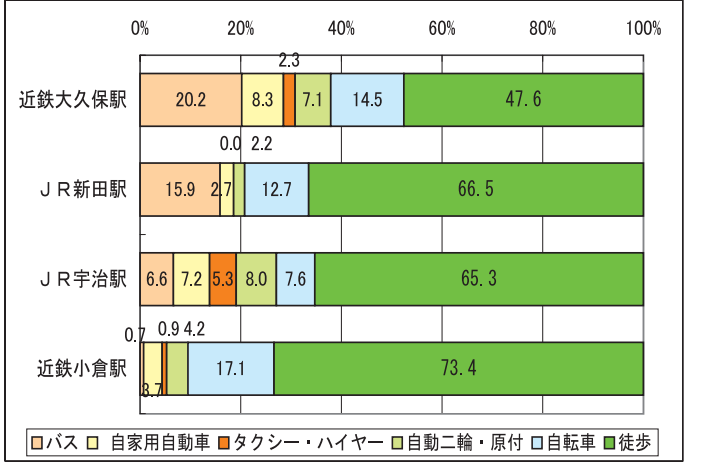
2. 地区の現況と課題

本地区の現況は次のとおりです。

■ 鉄道駅の乗降客と駅への交通手段

- 近鉄大久保駅は一日あたり約3万人の乗降客数があり、市内でも最も乗降客数が多い駅です。JR新田駅の乗降客数(平成18年宇治市統計書より)は一日あたり約5千人です。
- 両駅ともに、市内の他の駅と比べてバス利用者の割合が多く、交通結節点としての役割が大きいことが分かります。

【市内主要駅利用者の駅までの交通手段(構成比)】
(資料:平成12年第4回京阪神都市圏パーソントリップ調査)



■ 幹線道路

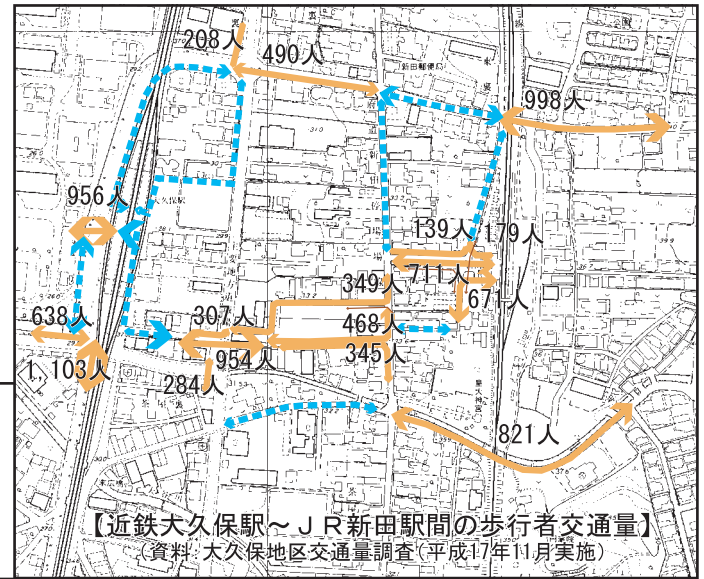
- 地区を東西、南北に走る幹線道路では交通渋滞が慢性化しています。



【府道城陽宇治線】



【府道宇治淀線】



■ 駅周辺の人の動き

- 駅周辺では、多くの歩行者が集まってくるため、歩行空間の充実が求められています。

凡 例

- ⇄ 歩行者・自転車の歩行等経路
- ⇄ (推奨経路)
- 349人 歩行者・自転車の通行量【午前7・8時台の2時間】

本地区の課題として、大久保まちづくりワークショップの検討結果を踏まえ、次のように総合的に整理します。

(1) 鉄道駅を中心とする交通拠点としての課題

- 駅等に集まりやすい交通施設の整備
- 交通渋滞の解消
- 鉄道駅間の歩行経路の整備
- 乗換えやすい駅前広場の整備
- 円滑で利便性の高い駅舎の整備
- 円滑な移動経路の整備



【大久保まちづくりワークショップの検討会場】

(2) まち(都市)の生活拠点としての課題

- 歩いて楽しい魅力づくり
- 中心的な商業地の活性化
- 地域ニーズに応じた商業・業務機能の充実
- 幹線道路沿道型サービス施設の地域密着型への移行
- 公共・文化施設等の誘致



(3) 暮らしの場としての課題

- 安全で安心できる生活空間の充実
- 地域の自然環境を活かした散策路の充実
- 地域のニーズに応じた公園、生活環境施設の充実
- 楽しい街なみ景観の形成
- JR新田駅東側の計画的なまちづくり



【大久保まちづくりワークショップのタウンウォッチング】